

ソリタリー・プラットフォーム

亡き英詩の恩師Kに捧ぐ

御園陽樹

快速が走り抜け、無人のプラットフォームが
 無言を止める、バンシーのなきごえのように
 その男の頭は垂れ、むくろのように
 タイルの、ひびわれた記憶をなぞるのみ

かつりかつりと、女の音
 真珠の、耳飾りを煌かせ
 白い袋を、携えながら
 貝のごとく、耳慣れた音をそばだてる

……それ、持とうか？
 男は意識を穿たれた
 別れを告げた夢たちに
 ……それ、持とうか？

やがて男は、名を呼ぶが
 それは蚊のように霧消する、けれど
 彼は恋い慕っている、いまも

ねえ、それさ……
 ぴくりとうごいた女の臉は
 声にならない声
 叫びにならない叫びをあげて
 悲しみさえ色あせた瑪瑙を抱く

レースの汚点から目をそらした男も女も
 きつと人違い
 もう脳裏に上ることもない顔も声も
 きつと思いい違い

交わることのない視線たち
 伝わることのない声たち
 背いたかれらの孤独たちは
 プラットフォームをすぎさりゆく

御園 陽樹

みその ようじゅ

1986年茨城県生まれ。大学在学中から詩・舞台演劇に携わり、「OVER」「パレット」「シュトゥルム」「MAGI」「かげらう」等の台本を執筆、上演し（カメオ出演）好評を博す。その傍、チェロ独奏及びオーケストラ活動を経て、現在も関東にて「Jake」としてクラシック及びコンテンポラリー音楽を展開。また、各分野で後進の指導にあたる。

<http://sonsuntree.exblog.jp/>

詩等のblog「その日、ヒースの野で謳う」

<http://jakecellist.iimdo.com/>